戦争と平和（1947）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国 日本
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1947/07/22

【解説】
　記録映画作家の亀井文夫が初めて監督した劇映画であり、山本薩夫が協同監督を担当し完成させた。GHQの指示により製作された、戦争放棄をテーマとした新憲法発布記念作品。
　太平洋戦争で輸送船が沈没、小柴健一は中国沿岸で漁夫に助けられた。妻の町子のもとには夫の戦死が伝えられ、幼い息子を持つ彼女はショックを受ける。強制疎開させられた町子と息子の茂男は大邸宅のガレージで住まうようになるが、そこへ幼なじみの康吉が現われ、町子に結婚を申し出る。やがて三人の生活が始まるが、空襲のショックから康吉が精神に異常を来してしまう。終戦を迎え、中国にいた健一が無事に帰還してきた。八年ぶりに町子を偶然見つけた健一だったが、すでに町子は康吉の子供を宿していた。

【クレジット】
監督 山本薩夫
　　亀井文夫
製作 伊藤武郎
脚本 八住利雄
撮影 宮島義勇
美術 河東安英
音楽 飯田信夫
出演 池部良
　　岸旗江
　　伊豆肇
　　菅井一郎
　　谷間小百合
　　立花満枝

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.